



シロバナサクラタデ (白花桜蓼)

<タデ科 イヌタデ属>

湿地に生える高さ0.3~1mの多年草。茎はまっすぐに伸びよく分枝する。葉は互生し長さ7~16cmの披針形で、先が尖り基部はくさび形でやや厚みがある。花は8月~11月。サクラタデによく似ているが、花被は白色で3~4mmとサクラタデより小さく、穂状に長く垂れ下がる。名は生態や花姿がサクラタデによく似ており花が白いことから。・・・▼友人が大切に育てているシロバナサクラタデ。しとやかにうなり楚々とした姿がとても美しい。▼初秋から晩秋へと移ろうこの季節、ひっそりと咲くミズヒキソウ、賑やかなイヌタデ、シロバナサクラタデ等々、肩寄せ合って咲くタデ科の仲間たちは素敵に映える。▼そして、絶えることのない暗いニュースが日々暮らしを覆う今、花を愛でる事の出来る幸せを思う。祈・平和。

~湯来町 2023・10~